

クラス番号	211	ゼミタイプ	エクスカージョン 型
		担当教員名	伊藤 文人
テーマ	「歴史」と「物語」：インタビューから「伝記」執筆へ		

ゼミナール概要

【目的、内容、方法】

本ゼミでは、多様な個人（学生の祖父母や「面白い」生き方をしている人たちならOK）へ受講生たちが出かけてインタビュー（オンライン含む）をし、その人の歴史（生きた軌跡＝物語）について学び、その内実を「伝記」としてまとめていく活動を行います。

諸個人は、受講生を含めてそれぞれの歴史（物語）を持っています。私たちが曲がりなりにも「生きることができる」のは、先人の経験を歴史的な学習を通じて「活かしている＝活かすことができる『ちから』を持っている」からでしょう。そもそも私たちの存在自体も、父や母、祖父や祖母、兄弟姉妹や親戚（叔父、叔母、いとこなど）との関係のなかにあり、それぞれが歴史的な存在です。他者を理解するとは、その人の歴史（物語）を学ぶこととほぼ同義です。

本ゼミでは、受講生の関心に基づいた個人がどのような「生き方」をしてきたのか、その多様な豊穡さを自分たちの生きる力へ転化していくための前提として対象にアプローチ（「生活史」「聞き書き」という方法を用います）して、その軌跡（歴史的物語）を「伝記」としてまとめていきます。

授業計画：

（前期）生活史や「聞き書き」方法、インタビューの方法などの基礎的な知識を専門書の輪読や映像鑑賞をする形で学びます。背景となる日本や世界の歴史的なトピックの「おさらい」を兼ねます。

（夏休み）家族（祖母、祖父、父、母、叔父、叔母など）を対象に、インタビューをして簡単な「伝記」を作成します。インタビューをする質問項目（何を訊くためにどのような質問をするのか）を考えていきます。

（後期）以上の課題を基盤として、対象を決めて、アボを取り、地域社会で生活している個人へ出向いて（ゲストとしてお迎えして）、インタビューをさせていただき、同様にこれを「伝記」としてまとめていきます。

【受講生の声】＜伊藤ゼミでの学習の魅力（M.Tさん）＞

私はゼミに入るまで伊藤先生が存在を知りませんでした。また伊藤ゼミに所属したことを先輩に報告したら「厳しいぞ!」と言われてびびっていました。しかし先生の学習に関する話をじっくり聞くと、ものすごく面白いことを自分に取り組んでいることが分かってきました。だから、今は伊藤ゼミを選んで良かったと心底思っています。ゼミでは、過去の出来事や人びとの人生との関係を学習しますが、おおまかな学習の指針や文献・資料を先生が示してくれて、それに沿って学生たち自身で具体的な学習テーマを決めて、それを実行に移していく、そんな自分たちが主体となる雰囲気や環境をお互いが大事にしているところがよいです。先生が学生たちの提案を最大限尊重し、より良いものを創ろうとしているので形に縛られたくないひとや、自分の企画や意見を持ち、積極的に周りの人とそれを交換していきたい人、とにかく何かやってみたい人には、お勧めです!!

担当教員からのメッセージ



人の歴史から見てくることは、たくさんあります。その人の軌跡（人生観）を聞くこと、それを伝記として書き記して遺していくことは、私たちが「社会福祉／ソーシャルワーク」に関わる上で大事な姿勢だといえるでしょう。他者のニーズに応答するのが社会福祉／ソーシャルワーク専門職の職責だとすれば、ニーズに応える前提は、他者を歴史的な存在として認識していく姿勢だと思います。

お互いの考えを尊重しながら知恵を集めて学習対象の理解に取り組んでいきたいものですね。ゼミでの出会い（一期一会）を大切にしたいものです。